

日 時：令和5年8月29日（火）9時30分から11時15分

場 所：四街道市保健センター3階 第2会議室

出席者：

【委員】佐藤光江（副会長）、北林栄峰、中村嘉孝、長谷川睦美、渡部洋、海保智行、調知博、  
福田三千男

【職員】荒木寿久社会教育課長、田島衣織課長補佐、柳田一成主事、安藤響香主事

欠席者：2人（江崎俊夫（会長）、川口一美）

傍聴人：0人

#### 1 開会（開会の言葉：荒木社会教育課長）

四街道市生涯学習審議会条例第4条第4項の規定により、佐藤副会長が会長の職務を代理する旨伝達

#### 2 会長代理挨拶（佐藤副会長より挨拶）

#### 3 会議の公開等

佐藤副会長の議事進行により、下記についての了承を得る。

- ①会議は公開とする。
- ②会議録の作成については、要点の記載とし発言者の氏名を明記する。
- ③議事録署名人については、押印廃止に伴い、特に署名を求めない。
- ④傍聴者を確認し、傍聴人はなし。

#### 4 報告

佐藤副会長：それでは報告に入ります。（1）「第3次生涯学習推進計画 令和4年度進捗状況」について事務局より報告をお願いします。

田島課長補佐：（下記事項について資料No1、資料No2に沿って報告）  
・「第3次生涯学習推進計画 令和4年度進捗状況」について

佐藤副会長：事務局からの報告について、ご意見、ご質問はございますか。

調委員：数値で表す「量」の評価も大事ですが、「質」の面からも評価があって良いのではないのでしょうか。

田島課長補佐：行政として、生涯学習の視点を持って取り組むことができたか、できなかったか、ということが、イコール生涯学習の推進をしたか、しなかったか、と直結するような形で調査を行っているので、できなかった理由がどうしてか等、事業の内容込みでの記載を意識して評価をしていなかった点が課題であると痛感しております。そのため、次期計画では、事業の内容等を重視し、成果を追っていきけるよう考えております。

調委員：90項目全体を追っていくのは難しいと思うので、絞り込んだ形で取り組むほうが、成果が上げられるのではないのでしょうか。  
また、90項目の内、6番目の図書館のような視点でそれぞれの事業を取り組めると生涯学習がより進展するのではないかと思いました。

荒木課長：おっしゃる通り、全部の項目を追っていくのは難しいので、特出しの事業を重点的に追っていくたり、いずれにしても生涯学習の推進にいかに関与しているかというような視点で考えていきます。

佐藤副会長：その他、ご意見、ご質問はございますか。

福田委員：資料No2の4. 調査結果、5. 総合評価についてです。評価の割合は前年と比較すると、約9.4%の増加となっていますが、内訳を見ると◎が約30個減少、○が60個増加となっています。◎が減少したことについてどのように考えていますか。

田島課長補佐：評価については、各課の出来栄を評価しているものですので、受け止めるしかないと思います。一度持ち帰らせていただき、庁内会議の際に各課に結果についてどう考えるか投げかけ、その結果をご報告いたします。

佐藤副会長：お願いいたします。その他に、ご質問等はございますか。

渡部委員：資料No1のNo17ボランティア関連事業についてですが、次の計画の中に社会情勢の変化、特に定年の延長に伴う対応を入れていただきたいと思います。

田島課長補佐：今回の計画の中では、持続可能な社会を目指す事がとても重要だと思っています。その中で、ボランティア活動も入ってくるものだと考えています。社会福祉課の委託先である社会福祉協議会が運営をしているボランティアセンターとなるとなかなか外に見えてこなくなってしまう。そこで、あえて、計画の特出しコラムでボランティアセンターの特集として今の課題、目指す先についての1ページを作りたいと事務局で考えています。その内容等については次回、ご提示する予定です。

渡部委員：お願いいたします。若い世代にボランティアを呼びかけようと講習会を実施します。小中高校生を対象とした講座に10月15日号情報誌の取材に伺います。その結果を報告しますので、参考にいただければと思います。

田島課長補佐：次回の会議に間に合えば印刷物を持参します。

佐藤副会長：参考になりますね。その他に、ご意見、ご質問はございますか。

(その他、意見、質問なし)

佐藤副会長：無いようですので、報告は以上でよろしいでしょうか。

(異議なし)

佐藤副会長：それでは次に進みます。

佐藤副会長：続きまして、議題(1)「第4次四街道市生涯学習推進計画について」事務局より説明をお願いします。

田島課長補佐：(審議の前に、前回の第1回会議後開催された庁内会議の結果について報告)

- ・7月13日開催 生涯学習推進本部幹事会について
- ・8月10日開催 生涯学習推進本部検討委員会について

田島課長補佐：それでは議事を進めていきます。ご審議いただく順番は、1つ目、第3次計画のまとめについて及び第4次計画に向けての課題や改善点について。2つ目、体系案について。3つ目、重点目標の設定について、以上3点でございます。資料ごとにご説明いたします。先に、資料No5をご覧ください。全ての資料がこちらの資料No5の体系案について決めるための資料となっていますので参考にさせていただきますとスムーズに進行すると思います。それでは順番に説明いたします。

(資料No3に沿って説明し、下記事項について諮る)

- ・第3次計画の5つの視点の評価終了について

佐藤副会長：ただ今の事務局からの説明について、ご意見、ご質問はございますか。

調委員：資料No1の継続できない事業について、市役所だけで考えず、関係する団体や組織一体で考えれば、できないということはないのではないのでしょうか。

田島課長補佐：重点目標等を設定する際に取り入れたいご意見ですので、このようなご意見を多く出していただけると助かります。

佐藤副会長：その他、ご意見、ご質問はございますか。

- 佐藤副会長 : 協働という言葉がよく出てきますが、タッグを組んで取り組んでいくことが大切かと思っています。  
他に、ご意見、ご質問はございますか。
- 佐藤副会長 : 先ほど、田島課長補佐より説明がありました、第3次計画の5つの視点については、終了としてよろしいでしょうか。
- (異議なし)
- 佐藤副会長 : それでは、了承が得られましたので、次の説明をお願いします。
- 田島課長補佐 : (資料N o 4、資料N o 5に沿って説明し下記事項について諮る)  
・資料N o 4の内容(文章の組み立て、文言等)や推進項目について
- 佐藤副会長 : 田島課長補佐からご説明いただきましたが、ご意見やご質問はございますか。
- 調委員 : 「学びの基礎づくり」の項目に、社会教育は入らないのでしょうか。
- 田島課長補佐 : ご意見として、参考にさせていただきます。「学びのきっかけづくり」に学習ニーズへの対応とありますので、こちらに入るのではと想定しております。基礎づくりは、全く意識の無い状態への学習に対する醸成をしていくイメージです。
- 調委員 : わかりました。「学びの基礎づくり」に家庭教育や子育てだけでなく、現役世代やシニア世代についても必要ではないでしょうか。
- 田島課長補佐 : 現在のイメージは初めて学びに触れることや必然的に学ぶこととなった健康に関する事などをきっかけづくりとしています。学習を醸成していくことや、学ぶことで活かしていくということを次のステージで協調していくことが必要になりますね。
- 長谷川委員 : 開催している教室や教えてくれる人の紹介等、様々な情報をまとめた資料があると、やりたいことを始めるきっかけになるのではないかと思います。
- 田島課長補佐 : まなびいガイドブックという情報誌を発行しております。事業としては、学びたい人と教えたいたい人をつなげる、アシスト事業を行っておりますが、周知が足りていないことを痛感しております。現場に周知し活躍してもらい、人材育成、活用を推進していけるよう取り組んでいければと思います。
- 佐藤副会長 : その他に、ご意見、ご質問はございますか。

- 渡部委員 : 資料N o 4の「学びがつなげる地域づくり」は上から目線に見えてしまうので、「学びでつながる地域づくり」という表現はいかがでしょうか。
- 田島課長補佐 : 参考にさせていただきます。他にも、気になった言葉について等、様々なご意見いただきたいと思っております。
- 福田委員 : 「学びのきかけづくり」の推進項目の中に、相談体制とありますが、実際に相談体制をどうするのですか。
- 田島課長補佐 : 資料N o 6をご覧ください。目指す方向、推進項目ですので、～するという言葉をあえて使わず、動きのある目標については、重点目標として具体的な目標を設定し達成していきたいと考えております。そのため、項目として掲載しております。
- 佐藤副会長 : その他、ご意見、ご質問はございますか。  
市民がわかりわかりやすく、取り組みやすいやわらかい言葉遣いがいいと思います。
- 長谷川委員 : 情報を流したり、チラシを作ったとしても、意識がないような人をどうするかというのが問題かと思えます。
- 田島課長補佐 : ホームページや市政だより、回覧板などを行っています。継続していき、新規でできることを、各部署で検討しています。生涯学習の計画でも、県へ登録して、市民が市内の情報だけでなく県内の情報が得られるよう、生涯学習の幅を広げていこうと進めています。また、市民がアクセスしやすいよう周知したりなど、方法を増やせるよう考えています。庁内で周知していきます。
- 調委員 : 「学びの基礎づくり」の項目に仲間づくりや人間関係に関する言葉があるといいと思いました。
- 渡部委員 : 「学びが支えるまちづくり」に社会資源の活用とありますが、自然や歴史具体的な言葉があるといいと思いました。また、活動場所を確保してもらいたいと思っています。
- 田島課長補佐 : ご意見、ありがとうございます。
- 佐藤副会長 : その他に、ご意見、ご質問はございますか。
- 調委員 : ボランティアを養成する前に発掘ではないでしょうか。
- 田島課長補佐 : 貴重なご意見として、持ち帰らせていただきます。

佐藤副会長 : 様々な意見をできる限り反映していけるようお願いします。  
その他に、ご意見等はございますか。

佐藤副会長 : 無いようですので次の説明をお願いします。

田島課長補佐 : (資料N o 5、資料N o 6 に沿って説明)

佐藤副会長 : 事務局からの説明に、ご意見、ご質問はございますか。

佐藤副会長 : 特にないようですので、以上で議題を終了いたします。それでは議長としての任を解かせていただきます。

## 8 その他

荒木課長 : 次回の審議会は10月下旬頃を予定しております。

## 9 閉会 (閉会の言葉 : 荒木社会教育課長)